

第4章

6. 障がいのある人への生活支援サービスの充実

施策3

情報提供・相談体制の充実

3 すべての人に
健康と福祉を



16 平和と公正を
すべての人に



これまでの取組

手帳交付時に「障がい福祉の手引き」により該当する制度について説明を行ってきました。サービス調整会議の全体会や各部会から、新たな情報について当事者向けに発信してきました。

湖南省と事業者が連携した相談支援を行ってきました。

めざす姿

身近なところで相談できる場所があり、公的サービスなどの情報を便利に入手できます。

複合的な課題に対応するため、湖南省や関係機関との連携に基づいた重層的支援体制が構築されています。サービス調整会議が、地域課題の把握や問題解決に対して十分に機能しています。

実施方針

- 虐待防止の啓発・理解促進
- 養護者や施設従事者に対する虐待防止の啓発
- 専門機関などとの連携強化のもと制度の啓発、情報提供の充実
- 相談支援事業所、障がいのある人の団体、行政などが連携した相談体制の充実

施策4

障がいに対する理解の促進

10 人や国の不平等をなくそう



17 パートナリシップで目標を達成しよう



これまでの取組

障がいのある人の人権をテーマとした講座を開催しており、人権まちづくり会議にて障がいのある人の人権部会と連携して啓発を行ってきました。

重層的支援体制の整備と合わせて相談支援事業の見直しに取り組み、各当事者団体への支援も継続しながら、サロンなどの自主活動への支援も行ってきました。

図書館と連携し、点訳ボランティアや朗読ボランティアを育成してきました。

めざす姿

こどもの頃からの学習や障がいのある人と交流する機会の創出、アール・ブリュット作品展示などにより、障がいのある人に対する正しい知識が浸透しています。

実施方針

- 障がいのある人に対する理解を深めるための機会の充実
- 自立のための学習の場づくりやコミュニケーション支援・相談活動の充実
- 障がいのある人や独学の作り手などの作品（アール・ブリュット）による自信付与（エンパワーメント）および創作活動の支援
- 社会福祉協議会のボランティアセンターを中心としたボランティア活動への支援
- 学校教育および社会教育における交流やボランティア体験などの充実

施策5 就労への支援



これまでの取組

甲賀地域障害児・者サービス調整会議を中心に、特別支援学校卒業生にむけた福祉事業所の合同説明会を実施しました。

ハローワーク甲賀の機関「チャンスワークこなん」では、企業への障がいのある人の雇用に対する理解と雇用を促進してきました。

就労に特化する個別支援会議においては、「チャンスワークこなん」や「働き暮らし応援センター」と連携しながら支援してきました。

めざす姿

障がいのある人の適性と能力に応じた雇用・就労を推進するため、福祉的就労支援事業所の充実とともに、雇用先の企業の裾野が広がっています。

「チャンスワークこなん」と連携した一般就労移行時、また移行後のきめ細かな支援により、障がいのある人の安定した就労が継続できています。

実施方針

- 福祉的就労の場の確保
- 福祉的就労支援事業所などに対する業務発注や、製品の積極的購入・活用の推進
- 福祉的就労を支える各事業の充実と、より生きがいに結び付く作業の開拓
- 関係機関の連携強化による就労への継続的な支援
- 障がい者就労情報センターなどの充実による一般就労の促進
- 「チャンスワークこなん」の利用者の拡充

施策6 生涯学習・文化芸術・スポーツ活動の場づくり



これまでの取組

地域においてその人らしい日常生活や、社会生活を営むための相談支援、創作活動・生産活動を行う地域活動支援センター事業を実施してきました。日中一時支援事業では、レスパイトや余暇活動、交流の場としての居場所の提供を行いました。

めざす姿

事業所や人材の充実により、地域活動支援センターの活動などが充実しており、気軽に参加できるスポーツ環境づくりなどによって、スポーツ、レクリエーション活動などを障がいの有無に関わらずともに楽しまれています。

実施方針

- 企業などとの連携による活動・文化の場づくりの推進
- 障がいのある人のスポーツ団体との連携強化とスポーツイベント支援
- 外出支援や余暇支援のためのボランティア組織やNPOの育成・支援

第4章

7. 健康づくりの推進

施策1 健全な生活習慣の形成



これまでの取組

第3次健康こなん21計画に基づいて、健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、地区や分野ごとの健康課題に取り組んできました。

めざす姿

市民一人一人が自らの健康の維持・増進に向け主体的に取り組んでいます。また、多様な機関や団体が連携し、地域全体での健康づくりに取り組み、活動が充実しています。

実施方針

- 市民の自主的な健康づくりの推進
- 「オールこなん」の取組と連携による推進
- 食・運動などの正しい生活習慣の啓発

施策2 健康に関する正しい情報提供



これまでの取組

ホームページ、広報などのあらゆる媒体を活用した情報発信に加え、各地域では健康だよりの回覧やイベントを通じて健康に関する啓発を行いました。

めざす姿

健康に関する知識や各種感染症の流行状況などの最新かつ正しい情報がいつでも入手できるようになっており、気軽に健康相談ができる体制が整っています。

実施方針

- 多様な情報媒体による健康維持・増進および各種感染症の流行状況などの最新かつ正しい情報の発信
- 各地域でのイベントによる定期的な啓発の推進
- 悩みやストレスに関する相談窓口の整備

施策3

疾病予防・早期発見の推進

3 すべての人に
健康と福祉を



17 パートナシップで
目標を達成しよう



これまでの取組

広報こなん、ホームページや個別通知などの手段で予防接種などの情報を発信してきました。

市民が健（検）診を受けやすい環境を整えるとともに、健（検）診後に要医療者に対しては受診勧奨や保健指導を行ってきました。

めざす姿

予防接種の有効性などについて正しい情報が普及し、疾病の早期発見および重症化予防につながる健康診断やがん検診、保健指導を気軽に受けることができます。

実施方針

- 予防接種などの予防事業の啓発・推進
- 医療機関との連携による健康診査・検診体制の整備
- 市民が受診しやすい環境整備の推進
- 健（検）診後の要医療受診勧奨や保健指導の実施
- 各地域でのイベントによる定期的な啓発の推進
- 悩みやストレスに関する相談窓口の整備

第4章

8. 医療環境の充実

施策1

地域医療体制の充実



これまでの取組

公立甲賀病院や地域の医療機関が連携し、安心して医療が受けられる環境を整備してきました。

めざす姿

市民が安心して医療サービスを受けることができる「かかりつけ医」になり、地域医療機関の適切な役割分担と機能の相互連携の推進による総合的な医療体制が整っています。

実施方針

- 市外の高度医療機関を含めた地域医療のネットワーク化の推進
- 一次医療から三次医療まで対応できる救急医療体制の構築
- 大規模災害に対応できる広域災害救急医療体制の整備
- 人権尊重の視点にたった保健・医療の充実

施策2

地域包括ケアシステムの拡充



これまでの取組

医療と介護サービスが連携し、在宅医療・在宅看取りを行ってきました。

めざす姿

医療や介護、介護予防、住まい、生活支援に加えて、認知症施策など、さまざまな支援を切れ目なく提供する体制（地域包括ケアシステム）が整っています。

実施方針

- 在宅医療との機能連携の強化
- 医療と介護の連携強化
- 在宅医療の充実
- 地域包括ケアシステムの充実

9. 持続可能な地域共生社会の実現

施策1 多様な主体の参画の推進



これまでの取組

ボランティアセンターではボランティア育成事業を実施するとともに、コーディネーターを設置してきました。

めざす姿

介護サービス事業所のほかNPO、協同組合、社会福祉法人、ボランティアなどの市民や各種団体などとの連携・協働により、コミュニティと行政の地域課題の解決に向けた体制が整っています。

実施方針

- コーディネート機能による支援活動の促進
- 情報共有と意見交換の場の確保
- 連携・協力体制の整備

施策2 多様な福祉サービスの提供と事業者などの確保・育成



これまでの取組

事業所を超えた交流会や研修会を実施することで、若手職員の人財定着・育成を進めてきました。

めざす姿

人財確保と定着により、ニーズに応じた福祉サービスの提供体制が整っています。

実施方針

- 多様な福祉サービスの提供と事業者の確保・育成
- 福祉活動を行う人財や関係団体の育成・支援

施策3 人権の尊重とノーマライゼーションの理念の浸透



これまでの取組

甲賀・湖南権利擁護支援センターぱんじーを中心とした権利擁護支援ネットワークを構築し、地域の中核的な機能を発揮できるよう取り組んできました。

めざす姿

個性や違いを認めあいながら地域社会に参加できる機会や交流の場があり、子育て中の家庭や障がいのある人、高齢者が安心して生活できる環境となっています。

実施方針

- 人権の大切さに気づく学習と一人一人の尊厳を大切に交流の場づくり
- 権利擁護の推進
- 地域総合センターでの地域福祉事業の展開

第4章

9. 持続可能な地域共生社会の実現

施策4

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進



これまでの取組

だれもが住みたくなる福祉のまちづくり条例による新築などの申請時に、全ての人の利用に配慮された環境整備を指導してきました。

めざす姿

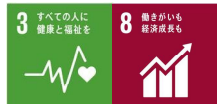
高齢者や障がいのある人など、だれもがさまざまな公共的な場所を安心・安全かつ快適に利用されています。

実施方針

- 福祉のまちづくりに関する条例などの周知
- 利用者の多い公共施設、交通機関などのユニバーサルデザイン化の推進

施策5

自立支援・相談体制の強化



これまでの取組

自立支援の相談とともに、関係機関や地域の方からの情報によるアウトリーチも行ってきました。

生活に困難を抱えている相談者の状況を的確に把握し、支援プランの作成、支援調整会議を開催し、関係機関との連携により課題解決につなげてきました。

めざす姿

相談支援体制が充実し、複合的な課題を抱えた市民に対しては伴走的な支援が行われています。相談者の自立につながる、一般就労に向けた支援を行う就労準備支援事業が実施されています。

実施方針

- 相談者の状況に合った適切な助言やサービスの提供
- 適切なサービス利用のための保健・医療・福祉の連携強化
- 関係部署との連携による生活支援
- 基礎能力の形成を図る就労準備支援サービスの提供

施策6

生活困窮者への支援



これまでの取組

複雑多岐に絡んだ困り事を抱えている相談者に対して、庁内および庁外関係部署と連携し、継続的な支援を行ってきました。

めざす姿

関係機関が連携し、困り事を抱えた相談者に対して継続的な支援が実施されています。支援につながりにくい人が、適切な相談窓口につながっています。

実施方針

- 専門職による自立のための伴走的な支援の提供
- 民生児童委員や地域支えあい推進員などの関係機関からの情報収集

第4章

10. 危機管理体制の強化

施策1

危機管理体制の整備



これまでの取組

市民の生命・財産を守るため、自然災害・異常気象の頻発・大規模化、感染症の流行など、経験したことがないさまざまな危機の発生に対し、地域防災計画などにに基づき住民・地域・行政が一体となった安心・安全なまちづくりを推進してきました。

めざす姿

災害時などに対して、円滑に対応することができる総合的かつ全庁的な危機管理体制が整っています。また、有事に備えた危機管理体制の深化により、必要に応じた応援協定の締結が進んでいます。

実施方針

- 地域防災計画による総合防災の推進
- 国土強靱化地域計画に基づく「起きてはいけない最悪の事態」に備えた体制の構築
- 業務継続計画、危機管理マニュアルによる職員体制の整備
- より効果的な災害時応援協定の拡充
- 危機管理システムのDX化など危機管理体制の充実

施策2

防災体制の充実



これまでの取組

市民の防災意識の高揚のため、甲賀広域消防・消防団・ふるさと防災チームなどと連携し、総合防災訓練や地域での防災学習などを実施してきました。また、メール配信サービスや防災行政無線などを活用し、緊急情報を即時に伝えてきました。

めざす姿

常時、防災体制や情報伝達手段などの見直し・再構築が行われ最適化されています。

個別避難計画の意義や支援方法などについて、地域住民など関係者の理解が深まっており、災害発生時に福祉避難所が機能するよう、人員や物資に関する体制が平常時から整えています。

実施方針

- 高度な情報伝達システムの構築
- 甲賀広域消防との連携による消防団・自主防災組織などの地域防災力の強化
- 避難行動要支援者の避難支援体制の構築（地域全体で支えあう防災対策）

施策3

防災施設の整備



これまでの取組

危機への備えのため、各小中学校・まちづくりセンターに防災倉庫を配置し、資機材・食糧などの備蓄とともに災害用井戸の設置、防火水槽・消火栓を整備してきました。

また、災害対策の拠点として東庁舎の新築建替えによる整備を進めています。

めざす姿

災害発生時の対策本部や避難施設となる拠点の防災機能が整っています。

実施方針

- 各地域における防災拠点の整備
- 防災用備蓄資機材・食糧などの維持更新
- 防火水槽・消火栓の整備
- 新庁舎整備事業の推進

施策4

災害の未然防止



これまでの取組

水害などによる人命への影響を未然に防止するため、浚渫（しゅんせつ）や護岸改修工事を実施するとともに、危険エリアに関する周知・啓発を行ってきました。

めざす姿

地域住民の命と財産を守るための適切な治水対策とともに、住民一人一人が土砂災害から身を守るよう備えています。

実施方針

- 治水・砂防事業などの推進による危険箇所への対策強化
- 土砂災害危険区域の地域住民への啓発

第4章

11. 安全な地域づくりの推進

施策1

防犯体制の強化



これまでの取組

地域における防犯カメラの設置を支援する「湖南市安全なまちづくり自主活動支援事業」を周知し、設置を推奨してきました。

めざす姿

家庭や地域で防犯と安全意識が高まり、全ての人のために安心・安全な地域となっています。

実施方針

- 市民、警察署、滋賀県防犯協会などとの連携による安心安全なまちづくりの推進
- 防犯対策の推進

施策2

消費者市民社会の形成



これまでの取組

消費者のトラブルや、困り事について助言や斡旋を行ってきました。また、市公式 SNS やメール配信、広報こなん、組回覧にて最近の悪質事例の情報提供や注意喚起を行っており、学童保育所への出前講座、小・中学生への啓発冊子の配布も行ってきました。

めざす姿

市民への啓発活動などにより、消費者トラブルや被害が減っています。

実施方針

- 注意喚起を促すための情報提供の充実
- 悪質商法対策の啓発の充実

施策3 交通安全の推進

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

交通安全対策を推進するため、交通事故発生ポイントなどでの交通安全施設を整備してきました。

交通安全教室や各交通安全運動、地域交通立番、交通安全啓発パトロールを実施してきました。

交通安全プログラムに基づいた児童などの通学路の安全確保に努め、点検および改善を行ってきました。

めざす姿

施設の点検や修繕が進められ、交通安全施設の劣化などによる事故誘発が防止されています。

高齢者には運転免許証自主返納を推奨するとともに、高齢者向けの交通安全教室の開催などにより、高齢者が関わる事故が減っています。

実施方針

- 地域との協働による危険箇所の把握・精査、交通安全施設の修繕・復旧の促進
- 地域・団体・事業所などとの連携による交通安全教室や街頭啓発の継続的な推進
- 児童生徒の安全確保のための通学路の点検および改善

施策4 総合的獣害対策

15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう



これまでの取組

甲賀地域獣害対策協議会では罠の購入、獣害対策に関する研修、狩猟免許取得費の補助を行ってきました。

めざす姿

被害状況の見える化が進み、防除方法の情報発信、研修の機会の充実により、市民が主役となって防除を行う体制が整っています。

関係機関と連携した啓発を行われ、地域全体で獣害に対する意識が高くなっています。

実施方針

- 地域全体での持続可能な管理体制の構築
- 防除体制と被害状況把握の強化
- 地域・関係機関と連携した獣害対策

第5章 市民文化を築き、育み、伝えるまちづくり

いきいきとした暮らしをつくろう

～湖南省みらいものがたり Episode 5～

「ただいまー」

ピカピカの笑顔で玄関の扉を開けた高校生の紬（つむぎ）を、母の真紀はにっこりと優しく迎えた。「おかえり。今日は“みんなの居場所”に行ったんでしょ？ママ友から聞いたよ」

紬はうなずき、誇らしげに言った。「うん。友達の妹が来てて、勉強教えてあげたよ」

“みんなの居場所”は、地域のまちづくりセンターにある。赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれのライフスタイルに合わせてだれでも気軽に利用できるスペースだ。平日の午後には、授業を終えた学生たちや休憩中の登下校パトロール隊でにぎわっている。親世代、祖父母世代と交流することで視野が広がり、同世代や低年齢の子と接することで思いやりが生まれる。そしてその循環はいきいきと暮らせるまちづくりにもつながっていく。湖南省は一人一人がまちの主役になれる笑顔にあふれるまちになっていく。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなで作る将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第5章

1. 若者の社会参画の促進

施策1

若者の社会参画の促進



これまでの取組

こなんSDGsカレッジ生を中心に、まちづくり活動の企画・運営に主体的に関わることで、地域の大人や同世代とのつながりを深めてきました。

めざす姿

多くの若者が参画したいまちづくり活動と、学校・地域との連携による導線づくりにより、「青春祭」や「二十歳のつどい」をはじめ、さまざまな活動に多くの若者が主体的に参加しています。

実施方針

- 多くの若者のまちづくり活動への参画の促進
- 多くの若者が参画したいまちづくり活動の充実
- 学校・地域との連携による参画の誘導

施策2

地域を担う若者の人財育成



これまでの取組

若者がまちの担い手として成長しています。また、地域課題への取組やさまざまな事業にも参画する機会となっており、湖南省が進める『小規模多機能自治』の実践的な一端を担っています。

めざす姿

まちづくり活動に参画する多くの若者の中から、地域リーダーが持続的に育成されています。

また、まちづくりや社会教育を担う団体の中で、若者が役割を持ち、若者の意見を生かせる仕組みづくりが整っています。

実施方針

- まちづくり活動への参画を通じた地域リーダーとなる若者の育成
- 地域でのまちづくりや社会教育活動への若者の参加の促進

2. 人の輪が広がる場づくり

施策1

人の輪が広がる居場所づくり



これまでの取組

6箇所のまちづくりセンターと4箇所のコミュニティセンターが各地域に置かれ、地域のまちづくり活動などの拠点となってきました。

めざす姿

地域の特色を生かした学びの体験をきっかけに人と人がつながり、地域を支える人を育成する仕組みづくりが整っています。

コミュニティ施設や公園内のスペースが、人の輪が広がる場として活用されています。

実施方針

- 人の輪が広がる場の確保

施策2

ふれあい・つながる地域学習環境の充実



これまでの取組

まちづくりセンターでは、地域の主体性や自由度の高い活動が可能となっています。

小中学校に家庭教育支援員を配置し、保護者対象の講演会や学習会を開催するなどの学習機会を提供してきました。

めざす姿

まちづくりセンターでは、学習拠点として必要な人財情報や支援が充実しています。

実施方針

- 身近な学習拠点であるまちづくりセンターでの生涯学習事業の支援
- 保護者などの家庭教育に関する学習機会の提供

第5章

3. 生涯学習環境の充実、教育プログラムの充実

施策1

生涯学習環境の充実



これまでの取組

家庭教育講座を開催してきました。湖南省のホームページなどを活用し、講座などの情報を発信してきました。

めざす姿

だれもが参加しやすく、地域に根ざした学びや世代間交流を支える学習環境が整っています。

実施方針

- 地域の個性が生かされた生涯学習の推進
- 多様な学習機会の提供と情報発信による参加啓発

施策2

生涯学習拠点の整備



これまでの取組

こどもが読書に親しむ機会や生涯学習の機会を充実させるため、情報提供などに取り組んできました。

めざす姿

市民のニーズを反映した施設の有効活用、運営の効率化が図られ、利便性やサービスが向上しています。

実施方針

- 既存施設の効率的で効果的な運営の推進
- 図書館や歴史民俗資料館などの公共施設の活用

4. スポーツ環境・拠点の充実

施策1 スポーツ活動の推進



これまでの取組

スポーツ少年団の活動を支援してきました。マラソン大会・駅伝大会などが開催され、多くの市民が参加してきました。

めざす姿

多様なニーズや幅広い年代に対応したイベントなどが開催され、多くの指導者やスポーツボランティアなどが活動しています。

実施方針

- スポーツを振興する団体への支援
- 多様なスポーツイベントの企画運営の推進
- スポーツボランティアの育成支援

施策2 スポーツに親しむ環境づくり



これまでの取組

湖南省スポーツ推進委員が出前講座など各種事業においてワンポイント指導を行いながら「正しいラジオ体操」の普及を実施してきました。

健康教育や保健指導の場において、運動についての啓発を行ってきました。

めざす姿

こどもからお年寄り、障がいのある人などあらゆる人がスポーツ活動を楽しんでいます。多くの市民にとって、身近な場所で気軽にスポーツに取り組むことが習慣化しています。

実施方針

- スポーツと健康づくりの一体的な推進
- 企業などの協働による先進的なヘルスケアの推進
- 年齢・体力に合わせたスポーツプログラムの提供と充実

施策3 スポーツ施設の充実



これまでの取組

各社会体育施設について、スポーツ施設の有効活用の検討や効率的な施設運営を行ってきました。

めざす姿

関係団体との連携によって、多様なニーズに対応したスポーツができる施設となっています。

実施方針

- 施設の計画的な維持管理およびユニバーサルデザインの推進
- 地域、関係団体などとの協働によるスポーツ環境の整備

第5章

5. 図書館機能の充実

施策1

図書館機能の充実

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

資料と情報の提供を行う機関として、2箇所の図書館と移動図書館による図書館システムで運営を行ってきました。インターネットなどを活用し、利用者の利便性向上のための取組やこどもが図書に親しむ機会を積極的に提供してきました。

めざす姿

効果的な情報発信と、学習ニーズに応えるサービスの充実により、多くの市民が図書館を利用しています。

実施方針

- 関係機関などとの連携による地域に根ざした図書館の運営・リニューアル
- 魅力ある蔵書の維持更新と図書館利用の促進
- 全域サービスの充実
- 地域資料の収集と情報発信の推進

施策2

人と本をつなぐ環境づくり

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナシップで
目標を達成しよう



これまでの取組

全域サービスやこどもの読書振興の一手段として、小学校、保育園、幼稚園、こども園、まちづくりセンターなどへの移動図書館の巡回を実施してきました。

めざす姿

こどもをはじめ市民の身近に本があり、市民と本をつなぐ人がいる環境があり、読書活動を通して心身の健康や生きる力が育まれています。

実施方針

- 本に親しむ環境づくり
- 家庭、地域、園・学校などが連携した環境づくり
- 読書活動への啓発と支援、広報の充実

6. 歴史文化遺産の保存・継承と活用

施策1 歴史文化遺産の保存・継承

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

湖南三山をはじめとする指定文化財の保存に対する支援のほか、未指定の文化財について新規指定などに向けた調査を実施してきました。

地域住民が歴史文化遺産に愛着が持てるよう文化財講座を実施してきました。また、次世代への文化財の価値継承のため、学校教育において郷土史の学習を実施してきました。

めざす姿

調査やデータ整備のほか記録の保存により、歴史文化遺産が次世代に継承されています。

調査結果の活用と価値を発信することで、地域住民が文化財の本質的な価値について理解し、愛着を持っています。

実施方針

- 文化財などの調査と適切な保存推進および支援
- 学校教育や生涯学習での郷土史の学習機会の提供

施策2 歴史文化遺産の活用

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

学校では、湖南市の歴史文化遺産を生かし、地域に根ざした学びを進めてきました。

歴史文化遺産の周辺に文化財の説明看板やトイレなどを設置してきました。

めざす姿

地域まちづくり協議会などと連携した取組により、まち歩きなど魅力的な活動が行われています。

多言語解説案内板の設置などにより、外国人観光客に歴史文化遺産の魅力が伝わっています。

実施方針

- 学校教育や社会教育での郷土史の学習機会の提供
- 歴史文化遺産の周辺の景観形成や芸術文化活動との連携による魅力のPR
- 地域まちづくり協議会との協働による文化財講座などの充実

第5章

7. 文化芸術活動の振興

施策1

文化芸術活動への支援



これまでの取組

文化ホールだけでなく、アウトリーチによる鑑賞事業を実施してきました。美術展では、参加体験型のパフォーマンス事業を行うなど、若年層への啓発を図ってきました。

めざす姿

文化ホールを中心に、多様なニーズや幅広い年代（特に若年層）に対応した催しが実施されています。

若年層を中心に人財の発掘・育成が進み、文化芸術活動が次世代に継承されています。

実施方針

- 文化芸術に触れる機会や活動場所の提供
- 教育・関係機関と連携した文化芸術活動の人財発掘・育成・継承の支援

施策2

湖南市の魅力となる文化芸術の創出



これまでの取組

文化祭や美術展など、市民が主体となって、企画運営を行うとともに、各種イベントではアンケートを実施し、ニーズの把握を行ってきました。

めざす姿

湖南市の特性に根ざした独自の新たな文化が創造され、市民の誇りとなっています。

実施方針

- 文化芸術に関するニーズ把握と多様な主体への情報発信の強化
- 多様な文化芸術活動に接する機会の創出

8. 人権教育の推進

施策1

人権教育・啓発活動の推進



これまでの取組

学校・園・地域・職場において、さまざまな人権課題をテーマにした学習や研修を実施してきました。

人権まちづくり懇談会の開催や人権啓発講座を行ってきました。

めざす姿

一人一人が、あらゆる差別や人権侵害のない社会を創る主体者としての自覚を持ち、人権尊重の精神が現れています。

包摂（インクルーシブ）と多様性（ダイバーシティ）を大切にする共生社会が実現しています。

実施方針

- 児童生徒の人権意識の向上、生きる力と学力を高める取組の推進
- 人権まちづくり懇談会、啓発講座の内容充実による市民参加の促進
- 市民が主体的に学べる環境、交流の場づくり
- 企業・事業所に対する人権教育と啓発の推進

施策2

職員研修の推進



これまでの取組

人権課題の解決に向けた地方公共団体の責務の理解とともに、市職員に対し、人権啓発のリーダーとして市民の人権意識を高揚するための人権研修を行ってきました。

めざす姿

全ての市職員が業務において人権の視点を尊重し、基本的人権が尊重された社会の実現に寄与しています。

実施方針

- 人権に関する職場内研修の実施
- 外部派遣研修などの実施

第6章 効率的・効果的な行財政システムと人づくり

明日を拓く仕組みをつくろう

第6章

1. 自治体DXの推進

施策1

DXによる行政改革



これまでの取組

調査やヒアリングなどを実施し、組織的に機構改革や職員採用を行っており、在宅勤務制度を2020年度（令和2年度）に整備しました。

自治体クラウドのシステム共同化による割り勘効果やアウトソーシングによる業務の効率化を図り、最小の経費で最大の効果を発揮するための行政改革を推進してきました。

公共施設予約システムの運用を開始し、利便性の向上と施設管理の効率化を進めてきました。

めざす姿

デジタル技術の活用により、働き方改革を推進しながら行政需要の変化に対応した事務事業や組織体制の見直しが実現しています。

地域の活性化や住民サービスに与える影響を見極めながら、施設の統廃合が進められ、維持管理経費の削減や効率的な施設運営が実現しています。

実施方針

- デジタル技術の活用による行政手続きのオンライン化推進および窓口手続き簡素化の推進
- 公開型GISと公共交通の連携
- 自治体DXの推進
- マイナンバー利用環境における持続的な情報セキュリティの確保
- マイナンバーカードの普及促進
- セキュリティポリシーに基づく情報データ運用の透明化
- 社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築
- テレワーク環境の推進
- 自治体クラウドの推進
- 公共施設の最適化